

1 PLAN(目的・概要)

政策名	港湾の安全確保と大規模災害にも対応できる地域防災を目指した港づくり		30年度事業・施策評価結果		責任者	建設部 維持管理推進担当 課長	
施策名	港の安全性・信頼性の向上		成果	コスト			
事務事業名	港湾施設等の維持補修				連絡先	052-384-4821	
目的	対象(誰・何を)	維持管理計画を作成した施設			連携課	技術管理課、事業推進課	
	意図(どうい う状態にしたいか)	維持補修コストを低減し、予算を平準化しながら、必要な性能、機能を回復させます。			事業 期間	～継続	
概要	維持管理計画に基づき本組合が所有・管理する施設を点検診断し、港湾施設等の補修を計画的に進めることにより港湾施設等の維持補修コストを低減し、予算を平準化しながら、必要な機能、安全性を確保し、長寿命化を図ります。					根拠 法令等	港湾法第56条2の2
令和元年度の実施予定	老朽化した施設の維持補修を計画的に行っていきます。					実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
						関連 シート	

2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	老朽化した施設の維持補修を計画的に行いました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	1,786,427	1,547,026	2,716,823	2,016,759	令和元年度より、事業費の考え方を見直したため、事業費が増加しております。
人件費	千円	36,760	36,876	36,696	36,777	
合計	千円	1,823,187	1,583,902	2,753,519	2,053,536	

3 CHECK(検証)

成果目標名	29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
点検診断率(%) (単年度管理型)	目標			100	100	維持管理計画に基づく当該年度の点検診断が必要な施設における点検診断を実施し、その結果に基づき補修スケジュールを決定するため点検診断の実施割合を指標とする	
	実績	100	100	100			
	事業進捗状況(元年度)			目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	維持管理計画に基づく点検診断が必要な施設において、点検診断を実施しました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性 本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？ 事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっていないか？	○	港湾施設等の老朽化が急速に進んでいるため、厳しい財政状況の中で安全性、利便性の確保と長寿命化を図るには、施設の性能を維持する上で必要な補修を行っていく必要があります。					
有効性 事務事業の目的は、施策達成に貢献するか？ 期待どおりの成果が得られているか？	○	維持管理計画に基づいた補修を計画的に推進することは、上位施策である「港の安全性・信頼性・危機管理の向上」に資すると考えています。					
効率性 最小のコストとなっているか？	○	補修にあたっては、必要最小限のコストで施設の延命化を図る対応を行っております。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	港湾施設等の適切な維持補修により、施設の安全性確保や長寿命化を着実に進めていく必要があるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題			2年度以降の取組
今後も維持管理計画に基づく計画的な点検診断を適切に実施していく必要があります。			維持管理計画に基づき、引き続き、計画的な点検診断を実施し、適切な補修スケジュールの決定に努めていきます。